

AFFINIX^Q

分子間相互作用定量QCM装置



8 mL

1~4 ch

発振

溶剤耐性の高いセラミックセンサーを採用。
特に材料分野に真価を発揮するベーシックタイプ

ハードウェア

- ・発振法を採用
- ・1チャンネル機で小型・軽量
- ・溶剤耐性の高いガラスセル使用
- ・装置増設により4台まで一括測定が可能
- ・測定の自由度が高いキューベット(バッチ)タイプ
- ・注液や測定の工夫が容易な開放系
- ・加熱、冷却機構の搭載
- ・電源投入直後から測定が可能
- ・メンテナンスフリー
- ・他の測定ユニット(オプション)に交換可能(QN μ 、QN Pro)
- ・取説不要の簡便操作性

ソフトウェア

- ・直感的で洗練された操作性
- ・フィッティングモード搭載(専用解析ソフト「AQUA (オプション)」による動力学解析が可能)
- ・ドリフト補正機能搭載
- ・スミージング機能の搭載
- ・データViewerソフトの標準添付

AFFINIXシリーズ 製品ラインナップ／SELECTION GUIDE

	AFFINIX Q8	AFFINIX QN Pro	AFFINIX QN μ	AFFINIX QN
・手軽な相互作用測定装置を導入したい	○	○	◎	◎
・結合定数・速度定数を測定したい	◎	○	○	○
・サンプルの消費量を抑えたい	◎	○	○	△
・測定したいサンプルの数が多い	◎	○	○	○
・測定溶液に有機溶剤を混在させたい	△	△	△	○
・有機溶剤を使用して固定化を行いたい	○**	○*	○*	◎
・吸着物の粘弾性を定量したい	—	◎	—	—
・溶液の粘性を定量したい	—	◎	—	—

◎：特にオススメです

○：オススメです

△：あまり得意ではありません

—：測定できません

*：水晶分離型センサーセルをご利用ください

**：測定カップを取り外してご利用ください

仕様・動作環境

製品名	AFFINIX QN
型式	QCM2008-STKIT
測定原理	水晶発振方式
発振周波数	27 MHz (基本波)
感度	30 pg / Hz (620 pg/cm ² ・Hz)
検出可能質量範囲	100 pg～10 μ g (2 ng/cm ² ～200 μ g/cm ²)
発振安定性	液相ノイズ幅：1 Hz以下 (25℃蒸留水安定化時)
平均周波数変移	1 Hz / min 以内 (25℃蒸留水安定化時)
インジェクト方式	マニュアル方式、多検体連続注入(逐次添加可能)
最小インジェクション量	0.1 μ L～
測定チャンネル数	1 (4まで増設可能)
容量	ミニセル [1.6 mL]・ガラスセル [5～11 mL]
センサー	セラミックセンサーチップ
攪拌方式	マグネティックスターラー
温度制御機構	ペルチェ素子
設定温度範囲	0.1～50℃ (設定0.1℃単位)
システムソフトウェア	専用測定解析 (付属PC限定ライセンス) ※プリンストールでの出荷となります。CD-ROM等での同梱はございません。 ※ライセンスフリーの測定データビューワーをCD-ROMにてご提供いたします。
データ処理部形式	Windows®ノート型PC
データ通信方式	Ethernet 仮想シリアル
外形寸法	140W×300D×220H (mm) (AFFINIX QN本体のみ、突起部分除く)
重量	7.7 kg ※PCは除く
電源	AC 100～240 V, 1.0 A ※PCIは除く
推奨動作環境温度	20～30℃
主要オプション	専用解析ソフト AFFINIX Q User Analysis (AQUA) インストールCD ミニセル Immobilization Kit for AFFINIX (固定化キット)
標準付属品	AFFINIXQN 本体 (1) [型式: QCM2008-ST] 通信・測定キット [型式: QCMSTKIT] 通信測定制御ソフト組込PC (1) 取扱説明書 (1) PC付属品 (LANケーブル含む) ガラスセル (1) 攪拌子 (1) USBメモリー (1) センサーチップ※1ケース4個 (1) 測定データViewerソフト (1)

センサーチップの特長

- ・基本周波数27 MHz
- ・セラミック素材でパッケージング
※水晶板のみの購入はできません
- ・標準電極「金」の他様々なセンサー表面に対応
「Ti」「SiO₂」「Al」「SUS」など
金属・酸化物表面の特型センサーも利用可能
- ・固定化作業の簡便化
固定化操作が容易で、固定化状態を目視で確認可能
物理洗浄と化学洗浄の両方が行え、関連製品「スピスコーター」によるサンプル塗付も可能

